

せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第5号 2024年7月18日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
 URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
 FAX 011-612-0980

いよいよ夏休みが始まります。高校3年生の夏休みは、ただの長期休暇ではなく、進路実現のために有意義に過ごす必要があります。やるべきことを考えて計画を立てて、気持ちのメリハリをつけて過ごしましょう。



8月の予定

	行事	弁当
1	木 SOFIS ワークショップ1日目	
2	金 SOFIS ワークショップ2日目	
3	土 SOFIS ワークショップ最終日	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土 学校閉鎖 (~15日)	
11	日 山の日	
12	月 振替休日	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日 聖心女子大学招待説明会	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木 始業日、全校朝礼 地理コンテスト①1限(9:00-9:30)	要
23	金	要
24	土 高3特別プログラム②「8時間勉強会」 (希望者のみ)	
25	日	
26	月	要
27	火 全校朝礼	要
28	水 札幌視覚支援学校交流会オンライン反省会 (姉妹会執行部 放課後) 卒業アルバム写真撮影(委員会・部活)①	要
29	木 卒業アルバム写真撮影(委員会・部活)②	要
30	金	要
31	土	

☆ 行事予定は暫定のもので、大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

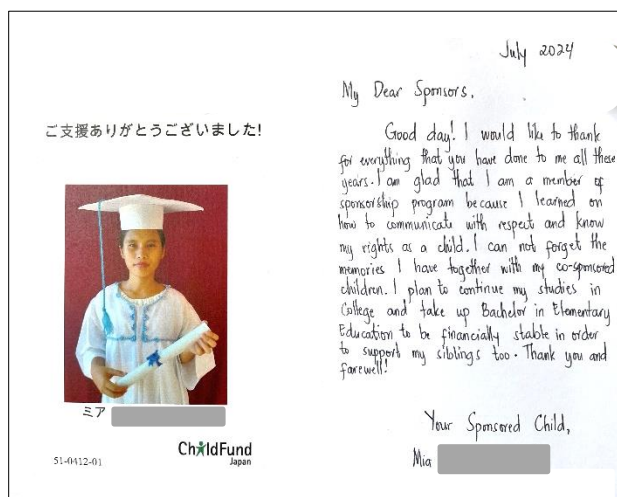
梅干し弁当募金

7月3日(水)に行われた梅干し弁当募金はシエラレオネの学校支援を行っている「ともに歩む会」にお届けします。シエラレオネの約4割の子どもは小学校にも通っていません。また、WHO加盟国の中で平均寿命が一番短くて47歳だそうです。

みなさまのご協力により、**総額15,400円**が集まりました。ご協力ありがとうございました。

ミアさんからのお礼

姉妹会が Child Fund Japan を通して就学支援してきたフィリピンのミアさんから、無事に高校を卒業できたことのお礼のお手紙をいただきました。本校では1990年から計5名の支援をしてきました。個人への支援は今回のミアさんが最後となりますが、今年度末までは Child Fund Japan への寄付を行っていきます。



～本校のこれまでの支援実績～

- 1990年～1997年 エイミーさん
- 1997年～2007年 メアリーさん
- 2007年～2009年 メラチェルさん
- 2009年～2019年 ライサさん
- 2019年～2024年 ミアさん

北海道の思い出作り (6/26 水)

6月26日(水)に特別プログラム「北海道の思い出作り」が行われました。4時間目終了後にバスに乗り込み出発し、サッポロビール園でジンギスカンを食べ、白い恋人パークでは工場見学をした後にソフトクリームを堪能しました。4時間弱という短い時間でしたが、大切な仲間たちと一緒に北海道、札幌らしさを満喫できた密度の濃い一日となりました。



今月のこころのことは

『森のなかで分かれ道に出たわたしは、あまり人の通っていない道を選んで進んだ。そしてそれによって全てが変わったのだ。』
(ロバート・フロスト)

“Two roads diverged in a wood, and I - I took the one less traveled by, and that has made all the difference.”

(Robert L. Frost)

最後の聖ソフィア祭は、生徒たちの実力あふれる働きと先生たちの献身のもと、皆の心を一つに結んだ見事な発表から夕食後の余興や花火に至るまで、素晴らしい盛り上がりで、恵みの時となりました。感謝のうちに夏休みを迎えます。

今年は特に、各国の聖心会と姉妹校からの祈りやメッセージが寄せられています。韓国からは祈りと共に、Sr. 呉順子(オー・スンジャ)が最後の年度のために来日し、修道院で生活や祈りを共にし、韓国研修生や希望する先生に韓国語の個人教授をして下さっています。

先日の寄宿生の夕の祈りで、これから様々な選りをしていく高校3年生に冒頭の詩を紹介されました。マタイ福音書の「いのちにいたる狭い門」(7章13節)を思い出させるこの言葉は、選りが結果を導くこと、そして、あまり人が通っていない道を選んだことが、素晴らしい結果を導いたと理解でき、シスターの「選りを大切に」との思いが伝わってきました。エレノア・ルーズベルトも「今の私があるのは、過去の選りの結果です。 (“I am who I am today, because of the choices I made yesterday.”)」と言っています。

一昨年に「アメリカ・ルーツの旅」の準備や英語の指導、そして聖心の歴史の授業のために4か月滞在されたSr. Donna Collinsもシカゴから来日し、6月から父の会・母の会聖書サークルや授業でお話をされています。授業では、気候変動や食物連鎖、また、私たち人間の選りの結果、深刻な状況にある大地や自然環境などについて講義され、地球環境が「滅びにいたる」道が無自覚に選りぶのではなく、気づきを深めて「いのちにいたる」道を選りぶようと呼びかけられました。

個人としても、地球を「我が家」とする一員としても、「いのち」にいたる道への選りを重ねられますようにと祈る夏です。



【チャプレン田口保子】